

Ⓐ

国語

受験番号			
氏		名	

問1	ア	伴	イ	見張	ウ	幼稚	エ	隔絶	オ	排除
----	---	---	---	----	---	----	---	----	---	----

問2	a	たく	b	またた	c	つら	d	ふよ	e	きそん
----	---	----	---	-----	---	----	---	----	---	-----

問3	ア	4	イ	3	ウ	2
----	---	---	---	---	---	---

問4	A	2	B	5	C	3	D	1
----	---	---	---	---	---	---	---	---

問5	3
----	---

問6	た	つ	た	一	度	ゝ	再	編	成	す	る
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

問7	こ	と	ば	の	指	示	対	象	を	確	定	す	る	こ	と
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

問8	じゃるる／／いきなり														
----	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

理由	ガヴァガーイが指す可能性があるものは無限にあるから
----	---------------------------

問9	ウサギ／ウサギの色／ふわふわした毛をもつ動物／ニンジンを食べっているウサギ／晴天の日に見るウサギ／切り離すことのできない体の一部
----	--

問10	4
-----	---

問11	子	ど	も	は	発	達	の	最	初	か	ら	内	的	に	「	概	念	的	枠	組	
	み	「	と	か	「	認	知	的	バ	イ	ア	ス	「	を	持	っ	て	い	る	。	
	こ	れ	ら	は	、	子	ど	も	が	生	ま	れ	な	が	ら	に	、	あ	る	い	
	は	学	習	が	始	ま	る	以	前	か	ら	持	っ	、	世	界	の	基	本	的	
	な	区	分	や	概	念	的	法	則	で	あ	る	。	こ	れ	ら	が	新	し	い	
	こ	と	ば	の	学	習	の	際	に	「	制	約	「	と	し	て	働	い	て	、	
	探	索	の	範	囲	や	吟	味	し	な	け	れ	ば	「	と	し	な	い	可	能	性
	を	狭	め	る	こ	と	に	よ	り	、	子	ど	も	は	曖	昧	な	い	状	況	か
	ら	大	人	の	指	示	内	容	と	だ	い	た	い	一	致	す	る	対	象	を	
	新	し	い	こ	と	ば	に	対	応	さ	せ	る	こ	と	が	で	き	る	。		

計

問11

問10

問9

問8

問7

問6

問5

問4

問3

問2

問1

2025年度一般入試 A 日程

— 傾向と対策 —

国 語

出題のねらい

大学生として必要な読解力と文章力、すなわち、論理的文章を読んで内容や論の組み立てを理解できるか、また、それについての自分の考えを表現する力があるかを問うことを目的として出題しています。ある程度の長さの文章を読んで、文章全体の構成や主旨を正しく理解し、設定された問題に応じて自分の意見をまとめることを要求します。年度によって文学史や文法の知識に関して出題することもあります。

出題形式・内容（分野）について

形式はこの数年変わっておらず、3000～3500字程度の文章とそれについての10前後の小設問で構成された大設問が1題というかたちで出題しています。出題範囲は現代文のみで論説文が多く、とくに文化論や社会学・心理学に関連した文章を多く取り上げています。2025年度のA日程では今井むつみ氏の『言葉の学習のパラドックス』から出題しました。著者はことばについて「認知言語学」の立場から研究を続けてきました。今回は子どもが驚くほどの速さで言葉を習得していくことについて、「クロミウム」や「カヴァーイ」という語を例として挙げながら論じている部分から出題しました。基本的な漢字の読み、書き、語の補填の問題から内容を問う問題まで、11問を設定しました。まずは正確に文章を読みとっているかを把握することをねらいとしています。漢字に関しては大学生として様々な文献を読みこなしていかなければならないと考え、高校までの学習範囲に限らず、一般的なものをも含めて出題しています。また、論理の展開を踏まえてきちんと内容を押さえていることを確認するための設問を多くしてあります。問11はこの文章の中心的なテーマでもある子どもの言語獲得について、「制約」というキーワードを使いながら150字以上200字以内でまとめるという問題です。200字でまとめることは試験時間の中では難しいと感じられるかもしれませんが、最初に問題に目を通したうえでポイントを拾っておき、解答に取りかかれば無理ではないはずです。採点はすべて手作業で行っています。

採点後の感想・効果的な学習方法

「出題のねらい」にも記載したとおり、大学生として要求される基本的な読解と表現の力を問う出題ですので、普段からいろいろな文章を読み、考え、書く習慣をつけておくことが大切です。同時に設問の要求することを正確に読みとり、それに応えていくことも必要です。たとえば「抜き出し」なのか、自分の言葉で「まとめ」るのか、何字で書くことを要求されているのか、といった「きかれたことにきちんと答える」という姿勢がもっとも大切です。問7では「十五字以内で書」くことを、問11では先述のように「制約」ということばを必ず使ってまとめることを求めています。そのような要求にきちんと答えてください。そして繰り返し出てくる語や表現はキーワードとしてしっかり押さえましょう。また、キーワードや字数の指定は「抜き出し」たり「まとめ」たりするための大きなヒントになります。